

二次会幹事を依頼する新郎新婦様へ 心構え

気をつけたいこと	内容
<p>大前提として</p>	<p>新郎新婦は引き受けてくれた幹事さんに感謝です。この感謝の気持ちがないと、会が終わったあとの人間関係に支障が出る場合もあります。</p> <p>結婚式の準備で忙しいところですが、幹事さんからの相談、幹事さんや会場との打ち合わせの参加、ヘルプは優先するように心がけましょう。</p>
<p>幹事さんの負担を減らしましょう</p>	<p>すべて任せるとする場合でも、丸投げにならないよう会場の決定やプランなど、積極的に新郎新婦が進んで決めましょう。</p> <p>会場決定、飲食プラン、会費の設定が最初のハードルです。「会場選びは自分たちですから、幹事を頼みたい」というのであれば、依頼もしやすくなります。進行、ゲーム、余興、演出や各所との連携に幹事さんも大変です。未決定箇所、不安箇所などは、お互い早めの相談で解決していきましょう。</p>
<p>金銭</p>	<p>二次会に参加する人数が予定より減る可能性もあります。赤字の場合には、自分たちが補填するからと、先に幹事さんへ話をしておけば安心ですね。景品や備品の用意、お釣りの立て替えも新郎新婦さんが用意するなど、お金のことに干渉して幹事さんに負担や心配を掛けないようにしましょう。</p> <p>会費の徴収は会計係に一任し、レジや金庫になるものを用意しましょう。会場への支払い、収支報告までを滞りなく行えるように、会計係さんと、しっかりと確認をしておきましょう。</p>
<p>協力メンバー</p>	<p>当日だけでもお手伝い、協力してもらえるメンバーも、新郎新婦からお願いをしておきましょう。受付、クローク、撮影、会場誘導、景品係など。友人でも、受付などの人前になるのが苦手ややりたくない人もいます。無理強いや傲慢にならないように気を配りましょう。</p>
<p>参加者へのお礼</p>	<p>予算にもよりますが、二次会に参列いただいたゲスト全員と挨拶ができるように、サンクスギフト（プチギフト）などを用意するといいいでしょう。来ていただいた友人、知人一人一人にお礼が言えるタイミングに、デザートやお菓子、ちょっとした小物を用意するといいいでしょう。</p>
<p>幹事さんへのお礼</p>	<p>二次会は約 3 ヶ月も前から、幹事さんに精神的にも、時間的にもかなりの負担を掛けています。幹事さんの会費は無料にするのが一般的です。プラス、お礼の気持ちを込めて、打ち上げの席をつくったり、金一封を用意したり、新居に 1 番にご招待して食事を振る舞ったりしてお礼の気持ちを伝えましょう。</p> <p>幹事を引き受けてよかったと思ってもらえるように感謝の気持ちを忘れずに。もちろん司会、受付、音楽、カメラマンなど、各担当をさせていただいた方も同様です。当日までの準備と当日の満足にとれない飲食や手荷物の多さ等もねぎらい、お礼をすると今後の友人関係も良いものとなるでしょう。</p>